



|   |   |
|---|---|
| 文 | 化 |
| の | 家 |

事業報告

- ・長久手町文化の家 絵画コンクール(高校生／一般の部)……………1
- ・第10回 長久手町文化の家フェスティバル……………2
- ・第6回 長久手町文化の家バンドフェスティバルほか……………3

特集 長久手オペラの10年

—「オペラのまち 長久手を目指して」—

《表：長久手オペラのあゆみ》……………4.5.6

文化の家利用状況

新年度フレンズ会員 募集案内……………7.8

これからの事業ピックアップ……………9.10  
《編集後記》

事業案内……………裏表紙

事業報告

report

秋から年末にかけて公演以外にもフェスティバルなどが開催され、出演者や観客が集まり、さすが「芸術の秋」というように文化の家もたいへん賑わいました。今回は、夏の小学生／中学生の部に続いて行われました、絵画コンクール(高校生／一般の部)の結果と11月と12月に行われましたフェスティバルについてご報告します。

平成  
20年度

長久手町文化の家絵画コンクール (高校生／一般の部)

「心に響く」のテーマのもと高校生20名を含む140名の応募がありました。大賞には、鈴木由雄さんの作品『望郷』が選ばれました。ガラスに映った人物を大胆にとらえた点や、丁寧に透明感あふれる作品に仕上げている点などが評価されました。

大賞

鈴木由雄さん『望郷』

金賞

三宅由里子さん『うまれいづるもの』、ひでひこさん『2人の形』

銀賞

竹田ゆう子さん『待つ』、林田健さん『貯水槽と白日夢』

※佳作、入選の方は紙面の都合上省略いたしました。ご了承ください。



大賞 鈴木由雄さんの作品

# 第10回長久手町文化の家フェスティバル

11月12日(水)～16日(日)開催

第10回長久手町文化の家フェスティバルが11月12日(水)から16日(日)まで開催されました。

舞台部門16団体、展示部門4団体、パフォーマンス部門3団体の合計23団体が参加しました。

今回は10回目と節目でもあり、参加団体による実行委員会が記念イベントとして合同演奏やエコキャップ運動への参加など今まで以上にフェスティバルを盛り上げました。



文化の家フェスティバルの参加者から、「ほかの団体との交流ができてよかった。」「立派な舞台に立ててよかった。」「10周年らしい企画で盛り上がった。」というご意見のほか、「自分たちの活動以外に集まるのが大変だった。」「もっと観客が集まって欲しかった。」などこれからの課題もいただきました。

しかし、このフェスティバルは多くの方から発表の機会を提供してくれるので日頃の練習もがんばると喜ばれています。これからもこの10年のノウハウを活かしてさらに充実したフェスティバルになるよう努めたいと思います。



## 10周年特別企画 **エコキャップ運動** 実施

「ペットボトルのキャップを売却することで、世界の子供たちにワクチンを送ることができる。」

10周年の特別企画としてその活動に協力しました。1kgを400個として計算し、800個でポリオワクチン1人分が購入できます。期間中ワクチン約60名分の合計48,553個が集まり、「エコキャップ推進協会」へ届けました。ご協力ありがとうございました。1人でも多くの命が救われることを願います。

実行委員による手作りオブジェの「回収ボックス」により、子供たちも楽しみながら協力してくれました。



# 第6回 長久手町文化の家 バンドフェスティバル

12月6日(土)・7日(日)

文化の家フェスティバルの舞台部門から独立した「第6回長久手町文化の家バンドフェスティバル」が12月6日(土)と7日(日)に行われました。高校生から社会人までの10グループ44名が参加し、練習の成果を存分に発揮し、パワフルに楽しく演奏し、観客も一緒に盛り上がりました。



照明や音響などの効果も本格的。出演者の練習の成果を出きった素晴らしい演奏も魅力的でした。



「文化の家フェスティバル」と「文化の家バンドフェスティバル」は、文化の家利用者みなさんに練習の成果を発表する場を提供することと、利用者間の交流を図るため開催しています。参加者による実行委員会形式で行っているため、大変と感ずることもありますがやり遂げた達成感や人とのふれあいなど、言葉にできない感動を味わえるのもこの事業の魅力です。是非みなさんも、参加してみませんか？

長久手演劇王国Vol.9 日本劇作家協会東海支部プロデュース

Jr.ライト級チャンピオンタイトルマッチ「劇王VI」

2月7日(土)・8日(日)



上演時間20分、役者3名以内、数分で舞台転換という制約のもとで上演される短編演劇の上演で、第5代劇王の鹿目由紀さん(かのめゆきさん・写真右枠)が「信号の虫」という作品で観客とゲスト審査員により、昨年に続いて第6代劇王に輝きました。

住民企画支援事業

佐山雅弘×松田昌 鍵盤DUOコンサート

2月15日(日)



ピアノと鍵盤ハーモニカという身近な楽器でのコンサート。ピアノデュオとは違った音やパフォーマンスなどが楽しめ、身近な楽器に対する親しみや魅力を再発見できるコンサートでした。

※住民企画支援事業とは  
住民自身が企画、運営する事業を文化の家が支援する事業です。

# 長久手オペラの10年

— 「オペラのまち 長久手を目指して」 —

—人口4万人の町に芸術大学を有し、町には1%の芸術家が在住している—全国でも稀なこの小さな「芸術家のまち」の象徴となるもの、それは総合芸術といわれる「オペラ」でした。そして10年前、長久手町文化の家の開館と同時に「オペラ」への取り組みが始まりました。

## ■草創期

オペラ事業を進めるうえで、まず「オペラを知る人」が必要でした。そこで声楽家としてドイツを中心にヨーロッパで20年間活躍し、愛知県立芸術大学で教鞭を取っていた大下久見子氏をプロデューサーとして招きました。大下氏はオペラの本場ヨーロッパで900公演もの舞台を経験した数少ない日本人であるばかりでなく、オペラの普及と人材の育成に対する並ならぬ情熱と信念を持っていました。また文化の家の建設委員として「オペラが上演できる劇場を」と最初に提案したのも大下氏でした。

さて、「オペラ」と聞くと一般的には敷居の高い、芸術のぜいたく品、つまり自分とは縁のないものと考えている方が多いのではないのでしょうか。まずはその垣根を取り払い、町民の方々にどうやってオペラに馴染んでいただくかが大きな課題でした。さらには予算の問題。オペラ上演には膨大な費用がかかり、長久手町のような小さな町ではなかなか簡単に上演というわけにはいきません。無理のない予算とクオリティを確保しながらも気軽にオペラを親しんでもらうべく、いよいよプロジェクトは具体化していきました。最初に取り上げた演目は「ヘンゼルとグレーテル」。クリスマス・シーズンに子どもでも楽しめる内容で、誰でも知っているグリム童話をもとにしたストーリー。上演はピアノ伴奏



によるコンサート形式で「大下くみこ（演出家での名称）」のレクチャー付。名場面を抜粋し、物語はナレーションでつなぎ、上演時間をコンサート程度の2時間に収めました。入場料は500円。まずはオペラを知っていただくことを何より優先しました。その結果、お客様から多くの反響をいただき、「500円で

は安すぎるのでは？」という声がかかるほどでした。

その後「蝶々夫人」、「カルメン」、「こもり」「ヘンゼルとグレーテル」の再演など、回を重ねるごとに公演内容の規模が大きくなり、それに伴い入場料がアップしたにもかかわらず来場者は増え続けました。



このようにレクチャー形式で始まったオペラ事業でしたが、ここで「長久手オペラ」の基盤が形づくられ、10年にも及ぶ息の長いプロジェクトの出発点となりました。

The 10th anniversary

## ■ 発展期

オペラレクチャー・コンサート」は、回を重ねるごとに公演内容が充実していきました。そこには初回から一貫した「プロローベ(稽古)にこだわる」ポリシーがありました。3~4カ月前か



(レクチャーする大下氏)

ら週一回行われる厳しく本格的な稽古は、大下氏指導のもと若手もベテランも一体となって一つの作品を創り上げるために、毎回全身全霊のエネルギーが注ぎ込まれます。このプロローベこそ、このオペラの要であり、キャストが長いスパンで作品に取り組める環境によってクオリティを確保し、オペラ公演に大きな成果をもたらしているのです。また、少ない予算でオペラ公演の継続を実現する背景には、ピアノによる伴奏、自前の衣装、本番前6日間の会場確保や舞台・照明・音響のプランを文化の家職員が行い、演出家と密接なコミュニケーションを行うなど、数々のアイデアによって最大限の効果を上げている点にあります。こうした一つ一つの工夫の積み重ねは、出演者とスタッフの信頼関係を構築し、着実にオペラ制作の糧となっていきました。



この時期のオペラ事業は、こうした工夫によって大きく飛躍した時期でもありました。過去の作品をダイジェストで上演するガラ・コンサート、「セヴィリアの理髪師」からはオーディションによるキャストの採用、学生へのゲネプロ公開、「フィガロの結婚」では初め

て大下氏以外の演出家を起用するなど、さまざまな試みを行い、さらなる発展を遂げていきました。そうした中「オペラレクチャー・コンサート」は、「長久手オペラ」に改名し、「オペラのまち、長久手」の意識をさらに強めて、事業を展開してきました。



(左 伊藤エンデ晶子さん)

## ■ 定着期~さらなる挑戦、10年目の集大成

このように地道な形で「親しみやすいオペラ」を紹介してきた長久手オペラは、数ある文化の家事業の顔となり、欠かせない定番事業となりました。そして、知名度にこだわらず素晴らしい作品を紹介していく姿勢を打ち出し、より広い視野で新たな挑戦が始まりました。「ほほえみの国」は、日本では上演回数が少ないにもかかわらず、「初めてでしたが、こんなに素晴らしいオペラが観られて感動した」というお声をたくさんいただきました。また、当初からの一つの目標となっていた、長久手国際オペラ声楽コンクール受賞者(伊藤エンデ晶子さん/第4回3位)の採用が初めて実現しました。

そして、長久手オペラ公演18回目となった今回、文化の家は開館10周年を迎えた節目に、指揮者にドイツの名匠フォルカー・レニック氏を指揮に迎え、初のオーケストラ演奏によるオペラ公演が実現しました。上演する「イドメネオ」

The 10th anniversary

は日本での上演回数は多くないものの、天才モーツァルトが自身のオペラの中で最も愛した作品としてヨーロッパでは人気が高く10年間の継続と実績を持って初めて実現できたと考えています。まさに長久手オペラの集大成と言えるでしょう。

このように文化の家は、「オペラのまち長久手」を目指して、オペラの魅力を伝え続けてきました。

これからもさらなる継続と発展を目指して、オペラの魅力を伝えるためのチャレンジを行ってまいります。

**オペラを見るなら、まず「長久手」から!**



(H12.12.22~23 ヘンゼルとグレーテルより)



(H21.3.21~22 イドメネオより)

## 長久手オペラのあゆみ

| No. | 公演   | 年月日                    |
|-----|--|------------------------|
| 1   | オペラレクチャー<br>「 <b>ヘンゼルとグレーテル</b> 」            | H10.12.23              |
| 2   | オペラレクチャー<br>「 <b>蝶々夫人</b> 」                  | H11.3.14               |
| 3   | オペラレクチャーコンサート<br>「 <b>カルメン</b> 」             | H11.6.27               |
| 4   | オペラレクチャーコンサート<br>「 <b>ヘンゼルとグレーテル</b> 」       | H11.12.23              |
| 5   | オペラレクチャーコンサート<br>「 <b>こうもり</b> 」             | H12.3.20               |
| 6   | オペラレクチャー・コンサート<br>「 <b>蝶々夫人</b> 」            | H12.6.25               |
| 7   | オペラレクチャー・コンサート<br>「 <b>ヘンゼルとグレーテル</b> 」      | H12.12.22<br>H12.12.23 |
| 8   | オペラレクチャー・コンサート<br>「 <b>ドン・ジョヴァンニ</b> 」       | H13.3.25               |
| 9   | オペラレクチャー・ガラコンサート                             | H13.9.23               |
| 10  | オペラレクチャー・コンサート<br>「 <b>セヴィリアの理髪師</b> 」       | H14.3.24               |
| 11  | オペラレクチャー・コンサート<br>「 <b>カヴァレリア・ルスティカーナ</b> 」  | H14.10.20              |
| 12  | 長久手オペラ<br>「 <b>ボエーム</b> 」                    | H15.6.29               |
| 13  | 長久手オペラ<br>「 <b>フィガロの結婚</b> 」                 | H16.3.20<br>H16.3.21   |
| 14  | 長久手オペラ<br>「 <b>魔弾の射手</b> 」                   | H17.3.20               |
| 15  | 長久手オペラ・ガラコンサート                               | H17.11.13              |
| 16  | 長久手オペラ<br>「 <b>リゴレット</b> 」                   | H18.10.8               |
| 17  | 長久手オペラ<br>「 <b>ほほえみの国</b> 」                  | H19.11.11              |
| 18  | 長久手町文化の家開館10周年記念公演<br>長久手オペラ「 <b>イドメネオ</b> 」 | H21.3.21<br>H21.3.22   |

# 文化の家 利用状況

文化の家は、部屋ごとの利用状況や入館者数などのデータを集計し、その結果を文化の家運営委員会に報告しています。

過去の状況をまとめてみなさんに報告することを計画しておりますが、それに先駆けて、まず今年度(平成20年4月～平成21年1月)の部屋別の「①利用状況」と月別の「②入館者数」を掲載しました。

日頃みなさんが感じている様子と比べて、データで見る文化の家はどう感じるでしょうか。

## ①利用状況 (平成20年4月～平成21年1月)

| 部屋名    | 利用日数(日) | 開館日数(日) | 稼働率(%) |
|--------|---------|---------|--------|
| 森のホール  | 151     | 213     | 70.9   |
| 風のホール  | 176     | 213     | 82.6   |
| 光のホール  | 124     | 254     | 48.8   |
| 展示室    | 216     | 254     | 85.0   |
| 舞踊室    | 252     | 254     | 99.2   |
| 音楽室    | 248     | 254     | 97.6   |
| 音楽スタジオ | 250     | 254     | 98.4   |
| 美術室    | 233     | 254     | 91.7   |
| 食文化室   | 182     | 254     | 71.7   |
| 生活工房   | 141     | 254     | 55.5   |
| 暗室     | 31      | 254     | 12.2   |
| 講義室1   | 225     | 254     | 88.6   |
| 講義室2   | 242     | 254     | 95.3   |
| 会議室1   | 248     | 254     | 97.6   |
| 会議室2   | 231     | 254     | 90.9   |
| 会議室3   | 232     | 254     | 91.3   |
| 和室1    | 144     | 254     | 56.7   |
| 和室2    | 124     | 254     | 48.8   |

左の表について、開館日数は部屋の利用可能日、利用日数はそのうちで利用があった日数です。

稼働率は、利用日数を開館日数で割ったものに100をかけた数値で、数値が高いほどよく利用されていることを表します。

この表から、例えば森のホールは月曜日と火曜日が休みのため、週5日開館になり、稼働率が約70%ですので、平均で3.5日利用されていることとなります。

この様に見ていくと、文化の家の各室がよく利用されていることがわかります。

抽選会に参加して施設を利用されている方などは、納得するところもあるのではないのでしょうか。

その中で、暗室(写真現像のための部屋)は、利用が限定されるため稼働率が低くなっています。

## 文化の家の利用方法

文化の家を利用するには、利用許可申請書を提出し、審査で問題がないと判断されると利用許可書が発行されます。(申請時または申請から1週間以内に利用料金を納付する必要があります。)

森のホールと風のホールは、12か月前の第1水曜日、アトリビングは6か月前の第2水曜日に行う施設利用抽選会で予約ができます。

抽選会翌日からは電話で仮予約ができますが、仮予約後一週間以内に事務室で申請手続きをしてください。

ただし、文化・芸術目的以外の利用の場合は、申請できる期間が異なりますので、判断が難しい場合は確認が必要です。

※利用や申請に関する詳細は、長久手町文化の家にお問い合わせください。



## ②入館者数

(平成20年4月～平成21年1月)

|     |         |
|-----|---------|
| 4月  | 39,668  |
| 5月  | 36,866  |
| 6月  | 34,987  |
| 7月  | 36,337  |
| 8月  | 34,708  |
| 9月  | 34,258  |
| 10月 | 41,167  |
| 11月 | 47,972  |
| 12月 | 41,378  |
| 1月  | 39,282  |
| 合計  | 386,623 |
| 月平均 | 38,662  |

単位(人)

※入館者数は、各出入口のカウンタ(自動数取機)で計測しています。

文化の家は、開館から10年で入館者数が約550万人となりました。平成20年度は、これまでのところ月に平均して3万8千人が入館しています。左の平成20年度の表から月別の入館者数を見ると、入館者が多い月と少ない月があります。

例えば、6月、8月、9月の入館者は少なくなっています。これは、6月に祝日が無いことや、夏休みでほかの行楽地などへ出かける方が多いからと推測できます。

通常、9月から12月は文化事業が多く、特にフェスティバルや大会などで入館者が増えます。

では、なぜこの年の9月の入館者が少ないのでしょうか。それは、この時期に長久手国際オペラ声楽コンクールが開催され、文化の家のホールをはじめアトリビングも関連事業や控室などに使用したためと考えられます。

このように、入館者数からもその時々状況がわかり、今後の管理運営の参考にしていきたいと思えます。

## 文化の家フレンズ 平成21年度

# 会 員 募 集 中 !!

### 入会方法

3月1日から21年度の会員募集が始まりました。入会にあたっては、申込書に必要事項を記入し会費を添えて文化の家フレンズ事務局までお申し込み下さい。なお20年度会員の方は会員証をお持ちいただくと更新手続きが簡単にできます。詳細は、事務局までお問い合わせください。

| 区 分       | 会 費(年間) |
|-----------|---------|
| 個人会員      | 1,500円  |
| 家族会員      | 1,000円  |
| 法人・グループ会員 | 15,000円 |

※個人会員と住所を同じくするものは、家族会員として入会できます。

※10月1日以降の入会については、個人会員は1,000円、法人・グループ会員は10,000円となります。

### 特 典

- 1.文化の家の公演案内を定期的に送付します。
- 2.各種公演の入場券先行販売
- 3.入場料金の割引



◎文化の家フレンズ事務局

tel.0561-61-3411 (文化の家事務局内)

アーティスト・イン・レジデンス

## クラウド・カンギーサー チェロ公開レッスン

(ケルン国立音楽大学副学長／教授)

チェロの名手であり、名プロフェッサー・カンギーサー氏による  
チェロ公開レッスン(3名)です。

**5月13日(水) 午後6時30分開演 風のホール**

500円 (全自由席、未就学児の入場はできません。)



名演への招待シリーズ8

ピョートル・アンデルシェフスキ  
ピアノ・リサイタル

ひたすら音楽の深みに身を委ねる  
世界のトップ・ピアニストによる待望の県内初公演!

**6月3日(水) 午後7時開演**

**森のホール**

【曲目(予定)】 ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第31番  
J. S. バッハ：パルティータ第6番 ほか

【前売】 一般：3,500円、フレンズ：3,000円、学生：2,000円  
【当日】 一般：4,000円、フレンズ：4,000円、学生：2,500円  
(全指定席、未就学児の入場はできません。)

近藤芳正主宰の「劇団♪ダンダンブエノ」から新ユニット誕生!!

バンダラコンチャ  
第1回公演「相思双愛」

時代も作家も異なる二つの原作を融合させて新たな物語を構築  
これは、ある愛と命の物語。

**6月5日(金) 午後7時開演** **森のホール**

原作：横光利一「春は馬車に乗って」より  
重松清「四十回のまばたき」より  
脚本：倉持裕／前川知大  
構成・演出：近藤芳正／桑原裕子  
出演：坂井真紀・辺見えみり・近藤芳正・榎本孝明



【前売】 一般：(指定席)4,500円、(自由席)3,500円      フレンズ：(指定席)4,000円、(自由席)3,500円  
【当日】 一般：(指定席)5,000円、(自由席)4,000円      フレンズ：(指定席)5,000円、(自由席)4,000円  
(未就学児の入場はできません。)

三三・山陽・茂山の

# ひふみのわらい 壺式参之笑

ひとつのお題で、ふたつずつ、「落語・講談・狂言」のみつつの芸が競い合います。日本独自の笑いをライブでお楽しみください。

**6月21日(日) 午後4時開演** **森のホール**

出演：柳家三三(落語)、神田山陽(講談)、茂山宗彦、茂山茂、茂山童司(狂言)

【前売】一般：3,500円、フレンズ：3,000円

【当日】一般、フレンズ：3,500円

(全自由席、未就学児の入場はできません。)



## 「狂言」で遊ぼう!

～みんなで狂言入門～

**6月20日(土)**  
**午後5時開演**

**森のホール**

出演：大藏教義・榎本元・宮本昇

【プログラム】

・お話「狂言」って?

・狂言「寝音曲(ねおんぎょく)」

・狂言体験コーナー

～休憩～

・狂言「蝸牛(かぎゅう)」

一般：1,000円、フレンズ：800円、高校生以下：500円  
(未就学児の入場はできません。)

### 狂言体験コーナーへの参加者を募集

申込方法：チケット購入時に文化の家にてお申込み下さい。  
定員は先着15人。

※狂言体験コーナー参加者は、当日、白足袋または白のソックスが必要です。

## ユールンヤコブ・ティム チェロ・リサイタル

ドイツ正統派の音楽遺産ともいふべきゲヴァントハウス管弦楽団主席、同四重奏団のチェリストが登場。ウィーンをテーマにした多彩なプログラムをお楽しみください。

**7月10日(金) 午後7時開演** **風のホール**

出演：ピアノ：横井汐音、チェロ：山際奈津香／ゲスト

【曲目(予定)】 シューベルト：アルペジョーネ・ソナタ ベートーヴェン：チェロ・ソナタ第3番 ほか

【前売】一般：2,500円、フレンズ：2,000円、学生：1,500円

【当日】一般：3,000円、フレンズ：3,000円、学生：2,000円

(全自由席、未就学児の入場はできません。)



### 長久手こども劇場

## 「おんぱく ～真夏のラプソディー」

大反響から2年「おんぱく」が帰ってくる!文化の家が一日音楽のテーマパークに大変身。

**8月2日(日)** **文化の家全館**

こども(中学生まで)500円、おとな1,000円【全自由席/3歳未満は無料/要整理券】

※公演の内容などは変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

### 編集後記

本誌が出る頃には「長久手オペラ」は第18回目の公演を終えていることでしょうか。オペラは高踏的で一般からは縁遠いものと思われがちですが、演劇や美術の要素も取り込んで視聴覚すべての喜びを満たそうとする大衆娯楽的な性格のもの。歌舞伎にも比せられるこの贅沢を、恒例の「長久手オペラ」、「県芸大大学院オペラ」、また隔年の「長久手国際オペラ声楽コンクール」を通してエンジョイし続けたいと思います。

文化の家 館長 川上 實

### (表紙絵)

春の訪れを感じ、文化の家の小さな創作家達は個性豊かな表現で喜びを唄い始めました。それぞれのメロディーが音符を形作り、音符は集まり花を咲かせます。今年の春も文化の家のステージにはたくさんの花が舞い降ります。

表紙デザイン：坂井秀行

2009年3月発行

編集・発行 長久手町文化の家

# 自主事業のご案内

## 4月 April

**12日(日)**  
**愛知室内オーケストラ スプリングコンサート2009**  
 ～美味しい音楽を召し上がれ  
 ●午後2時から 森のホール

**19日(日)**  
**[Grace in Motion]** 日本舞踊×尺八×ジャズピアノ  
 ●午後3時から 風のホール

**25日(土)**  
 映像鑑賞会 ヒッチコック特集  
**「北北西に進路を取れ」**  
 ●午前10時から/午後2時から (2回上映) 光のホール

**25日(土)**  
 ガレリアコンサート Vol.44  
**長久手フォレスト合奏団 メンデルスゾーンへの誘い**  
 ●正午から アトリウム

## 5月 May

**2日(土)・3日(日)・4日(月・祝)**  
**演劇博覧会「カラフル3」**  
 ●午前11時から午後8時 (2日・3日) 午前10時から午後7時 (4日)  
 森のホール 風のホール

**13日(水)**  
 アーティスト・イン・レジデンス2009  
 インター・カレッジ・プロジェクトNo.1 ケルンの風  
**クラウド・カンギーサー チェロ公開レッスン**  
 ●午後6時30分から 風のホール

**16日(土)**  
 映像鑑賞会 ヒッチコック特集  
**「サイコ」**  
 ●午前10時から/午後2時から (2回上映) 光のホール

**17日(日)**  
**長久手フォレスト合奏団 第5回演奏会**  
**生誕200年メンデルスゾーンの夢**  
 ●午後2時30分から 森のホール

**19日(火)**  
 ガレリアコンサート Vol.45  
 名古屋ウインドシンフォニーのメンバーによる  
**「お昼のひととき」**  
 ●午前11時から アトリウム

**31日(日)**  
**長久手フィルハーモニー管弦楽団 第12回定期演奏会**  
 ●午後2時30分から 森のホール

## 6月 June

**3日(水)**  
**ピョートル・アンドルシェフスキ ピアノ・リサイタル**  
 ●午後7時から 森のホール

**5日(金)**  
**バンダラコンチャ 第一回公演「相思双愛」**  
 ●午後7時から 森のホール

**6日(土)**  
 映像鑑賞会 ヒッチコック特集  
**「鳥」**  
 ●午前10時から/午後2時から (2回上映) 光のホール

**16日(火)**  
 ガレリアコンサート Vol.46  
**Cello×Cello**  
 ●午前11時から アトリウム

**20日(土)**  
 壱式参之笑プレ企画  
**「狂言」で遊ぼう!～みんなで狂言入門～**  
 ●午後5時から 森のホール

**21日(日)**  
**三三・山陽・茂山の「壱式参之笑 ひふみのわらい」**  
 ●午後4時から 森のホール

## 7月 July

**10日(金)**  
**ユールンヤコブ・ティム チェロ・リサイタル**  
 ●午後7時から 風のホール

**14日(火)**  
 ガレリアコンサート Vol.47  
**フルリン打**  
 ●午前11時から アトリウム

## 8月 August

**2日(日)**  
 長久手子ども劇場  
**「おんぱく～真夏のラブソディ～」**  
 ●午前10時から午後5時ごろ 文化の家全館

**8日(土)**  
**おとなのアニメーション 山村浩二の世界へようこそ**  
 ●午前11時から/午後2時30分から 風のホール

関連企画：山村浩二監督トークイベント  
 午後1時から2時まで

**13日(木)**  
**フルリン打～夢響幸奏、音の舞～**  
 ●午後2時から 森のホール

**22日(土)**  
**長久手子ども劇場 体験!「狂言でござ～る」**  
 ●午後2時から 森のホール



### 長久手町文化の家

〒480-1131  
 愛知県愛知郡長久手町大字長湫野田農94番地1  
 tel.0561-61-3411 fax.0561-61-2510  
<http://www.town.nagakute.aichi.jp/bunka/bunka/salon/index.html>

### 交通アクセス

- 地下鉄東山線藤が丘駅下車、「リニモ」はなみずき通駅下車、徒歩7分
- 地下鉄東山線藤が丘駅から車で5分
- 地下鉄東山線藤が丘駅下車、名鉄バス5番乗り場、長久手郵便局下車、徒歩8分
- 地下鉄東山線藤が丘駅下車、N-バス [Cルート]長久手郵便局下車、徒歩8分 [Fルート]文化の家下車すぐ
- 名鉄バスセンターから名鉄バス、長久手車庫行き、西島下車徒歩5分
- 東名高速道路名古屋インターから車で10分

※ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

